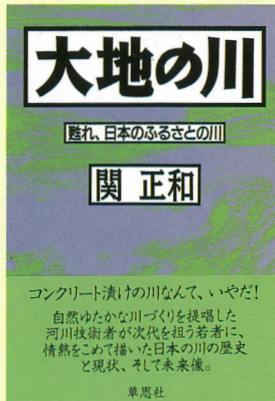


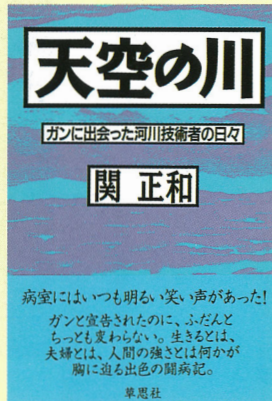
「大地の川」、「天空の川」刊行のお知らせ

リバーフロント整備センターの先駆者の一人である関正和氏（現職・建設省大臣官房付、中央大学非常勤講師）が日本の川の歴史や新しい多自然型川づくりへの思いをつづった「大地の川—甦れ、日本のふるさとの川」と自らの闘病記「天空の川—ガンに出会った河川技術者の日々」の二冊の本を出版されました。

日本の川の将来像を考える人にぜひご一読いただきたい本です。



「大地の川」 定価1,600円(税込み)



「天空の川」 定価1,500円(税込み)

発行 草思社

『大地の川—甦れ、日本のふるさとの川』では、今年のゴールデンウィークの5日間に氏が出演されたラジオ番組「川の流れば国の流れ」で好評を博した内容を含め、明治以降の日本の河川行政がめざましくしてきたこと、海外留学時代に出会った河川の印象や事例に学んだことなどが綴られています。

また『天空の川—ガンに出会った河川技術者の日々』は、著者が同省河川局治水課建設専門官のポストにあった平成2年、42歳にしてガンを宣告されてからの闘病記。科学者として、私人として為すべきことは何か——を希求していく氏の生き方が伝わってきます。

<出版物案内>

“今、話題の水文化を語る文化誌”

月刊「FRONT」

1,600円(税、送料込み)

“人が水と親しむ際の安全に対する基本認識や水に落ちたときの対処法等を紹介するビデオ”

「着衣泳入門～水辺の事故を防ぐために～」

4,800円(税、送料込み)

企画・制作 (財リバーフロント整備センター)

上記1誌とビデオについては(財リバーフロント整備センター)に直接お問い合わせ下さい。

“多自然型建設工法の理念と実際”

「まちと水辺に豊かな自然を」

定価1,800円(税、送料込み)

“わが国における多自然型川づくりの考え方と事例”

「まちと水辺に豊かな自然をII」

「多自然型川づくりを考える」

定価1,980円(税、送料込み)

編著 (財リバーフロント整備センター)
発行及び申込み先 山海堂

「ふるさとの川をつくるII」

定価6,800円(本体価格6,602円)

—ふるさとの川モデル事業整備計画事例集 (II) —

「ふるさとの川をつくるIII」

定価5,300円(本体価格5,164円)

—ふるさとの川モデル事業整備計画事例集 (III) —

“全国で展開されている美しい水辺づくりの試み・第4弾”

「ふるさとの川をつくるIV」

定価5,400円(本体価格5,243円)

—ふるさとの川モデル事業整備計画事例集 (IV) —

監修 建設省河川局
編集 (財リバーフロント整備センター)
発行 株式会社 榊原出版

「川を楽しむ」

定価1,854円(税込み)

—水辺の魅力再発見—

編集 (財リバーフロント整備センター)
発行 技報堂出版

「川の風景を考える」

定価1,980円(税込み)

～景観設計ガイドライン (護岸)～

編集 (財リバーフロント整備センター)
発行 株式会社 山海堂

「河道内の樹木の伐採・植樹のためのガイドライン(案)」

定価3,600円(税込み)

監修 建設省河川局治水課
編集 (財リバーフロント整備センター)
発行 株式会社 山海堂

「川」

～日本の水循環・文化の明日を想う～

定価1,980円(税込み)

編集 (財リバーフロント整備センター)
発行 株式会社 山海堂

「河川水辺の国勢調査年鑑関係」

「河川空間利用実態調査編 (109水系)」平成4年度

平成6年8月発行 定価17,000円(税込み)

「両生類・爬虫類・哺乳類調査編 (40水系)」平成4年度

平成6年11月発行 定価9,800円(税込み)

「底生動物調査編 (33水系)」平成4年度

平成6年11月発行 定価18,000円(税込み)

「鳥類調査編 (32水系)」平成4年度

平成6年12月発行 定価19,500円(税込み)

「陸上昆虫類等調査編 (42水系)」平成4年度

平成6年12月発行 定価19,800円(税込み)

「植物調査 (35水系)」平成4年度

近刊 平成7年1月末発行 定価19,800円(税込み)

「魚介類調査編 (32水系)」平成4年度

近刊 平成7年1月末発行 定価19,000円(税込み)

監修 建設省河川局治水課
編集 (財リバーフロント整備センター)
発行 株式会社 山海堂



財団法人リバーフロント整備センター

〒102 東京都千代田区三番町3番地8 「泉館三番町」 3階

TEL.03-3265-7121 FAX.03-3265-7456

1995年1月9日発行